

経営近況報告会

株式会社アルメディオ

2023年6月27日

於：たましんRISURUホール 3階小ホール


ALMEDIO



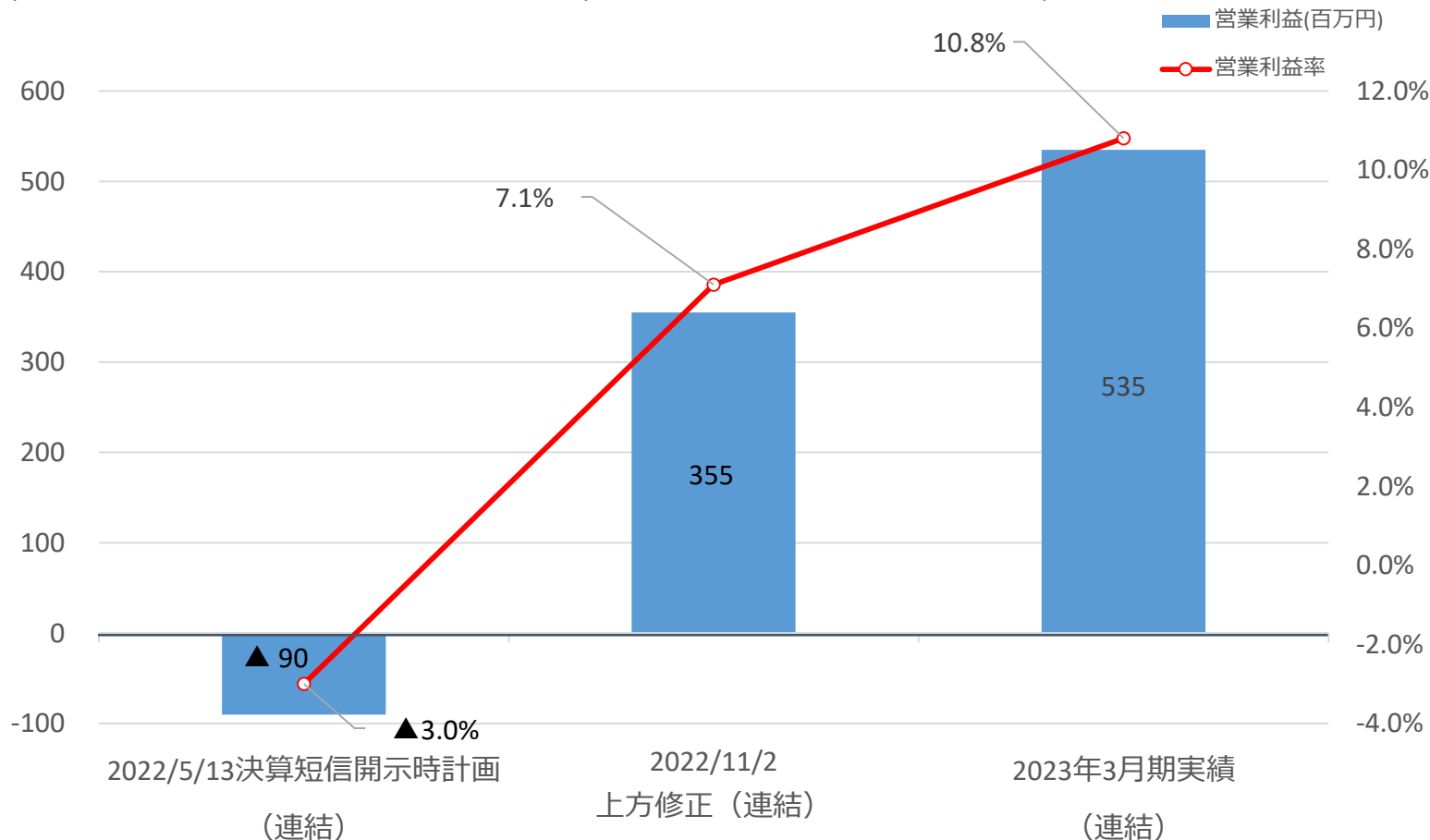
中期経営計画2022の振り返り

I. 中期経営計画2022の振り返り

2022/5/13決算短信開示時計画 (連結)
営業利益▲90百万円
営業利益率▲3.0%

2022/11/2上方修正 (連結)
営業利益355百万円
営業利益率7.1%

2023年3月期実績 (連結)
営業利益535百万円
営業利益率10.8%



2023年3月期(43期)の連結営業利益は▲90百万円(営業利益率▲3.0%)を目標としていましたが、連結営業利益は535百万円(営業利益率10.8%)となり、計画値を大幅に上回りました。

具体的な施策

① ナノマテリアル事業の成長スピードアップ

⇒有償サンプル品の販売を行い、国内外共に幅広い業種へのサンプル出荷件数が増加した。本格採用の道筋が見えてきた顧客への対応を強化した結果、一部の顧客において最終段階テストを行う段階まで進展している。

2023年3月期に大きな売上寄与とはならなかったものの、産業分野で使用する部材での採用など、本採用が見込まれる分野が広がっている。

本格生産拠点である福島双葉工場稼働により、本格生産が可能となった。

② 断熱材事業の更なる成長と環境問題対策

⇒子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、太陽光発電パネル製造向け拡散炉用ヒーターモジュールの販売が大幅に伸張し、売上高に大きく寄与した。

③ 成長が見込まれる事業への積極的投資

⇒福島双葉工場開設

結果：売上高・営業利益共に大幅アップ

2025年3月期の目標としていた営業利益率10%を
2年前倒しで達成した



中期経営計画2023

の実施について

1. 基本方針

事業構造改革のスピードを上げ、
機能性材料メーカーへの転換を図る

2. 計画の骨子

事業ポートフォリオの最適化を図り、
事業構造を転換し、2026年3月期
連結営業利益率**18%**を達成できる企業へ

3. 具体的な施策

(1) ナノマテリアル事業の成長スピードアップ

(2) 断熱材事業の更なる成長

2026年3月期

・ 連結売上高・営業利益過去最高

連結売上高6,674百万円 連結営業利益1,249百万円

・ アルメディオ単体黒字化

結果として、成長レベルに合わせたステークホルダーへの還元を
目標とする

3. 具体的な施策

(1) ナノマテリアル事業の成長スピードアップ ◆ 売上の拡大 営業戦略

施策

44期

本格採用の道筋が見えてきた顧客への対応力アップ

43期に獲得した技術スタッフを投入し、手厚い顧客対応を実施する

新規顧客の開拓
(採用が見えてきた業界への横展開営業活動など)

半導体・航空機用途、リチウムイオン電池関連での受注・採用活動を継続。採用実績を元に横展開を実施し、売上寄与に繋げていく。
また、業界に精通している方と顧問契約を結び営業力を強化する

海外展開
(顧客獲得に向けたアプローチ)

実績が得られてきている顧客にアプローチを実施する

自動車、インフラ、航空機業界への重点展開

継続的に重点分野として捉えており、引き続き活動を実施する

スポーツ、レジャー業界の開拓

進行中のテーマについての採用を目指す

アプリケーション提案力の強化

進行中のテーマについての採用を目指す

人材の拡充、育成強化

積極的に人材獲得を進める

3. 具体的な施策

(1) ナノマテリアル事業の成長スピードアップ ◆ 売上の拡大 技術戦略

施策

44期

製品ラインナップの拡充

プリプレグや3Dプリンタ用フィラメントをラインナップとして販売開始

量産化本採用に向けた体制強化

本格生産開始

品質保証体制の確立

ISO9001取得

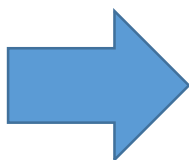
性能評価データの蓄積、
検証のスピードアップ

データの蓄積と更なる検証のスピードアップを目指す

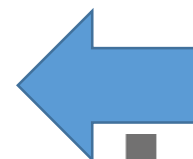
人材の拡充、育成強化

既存スタッフの育成強化を行い、増員も計画

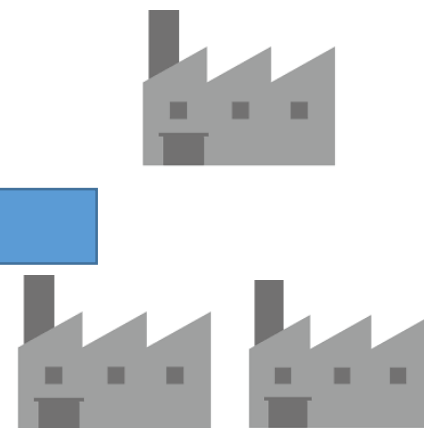
東村山事業所



福島双葉工場
2022年9月28日開設



バックアップの検討



<営業>

- ・ 営業戦略の立案
- ・ 顧客対応
- ・ 生産指示

<研究開発・生産>

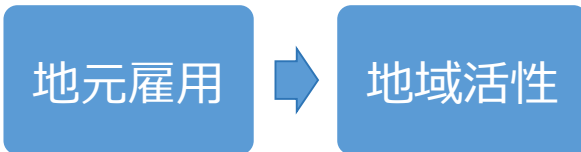
- ・ 新商品開発
- ・ プロセス・評価技術開発
及び福島双葉工場への移管
- ・ 試作生産
- ・ 中規模生産
- ・ 安全性チェック
- ・ 品質保証

<生産・出荷>

- ・ 生産・検査・出荷管理
- ・ リスクマネジメント
- ・ スケールアップ
- ・ 品質マネジメント

<協力会社等>

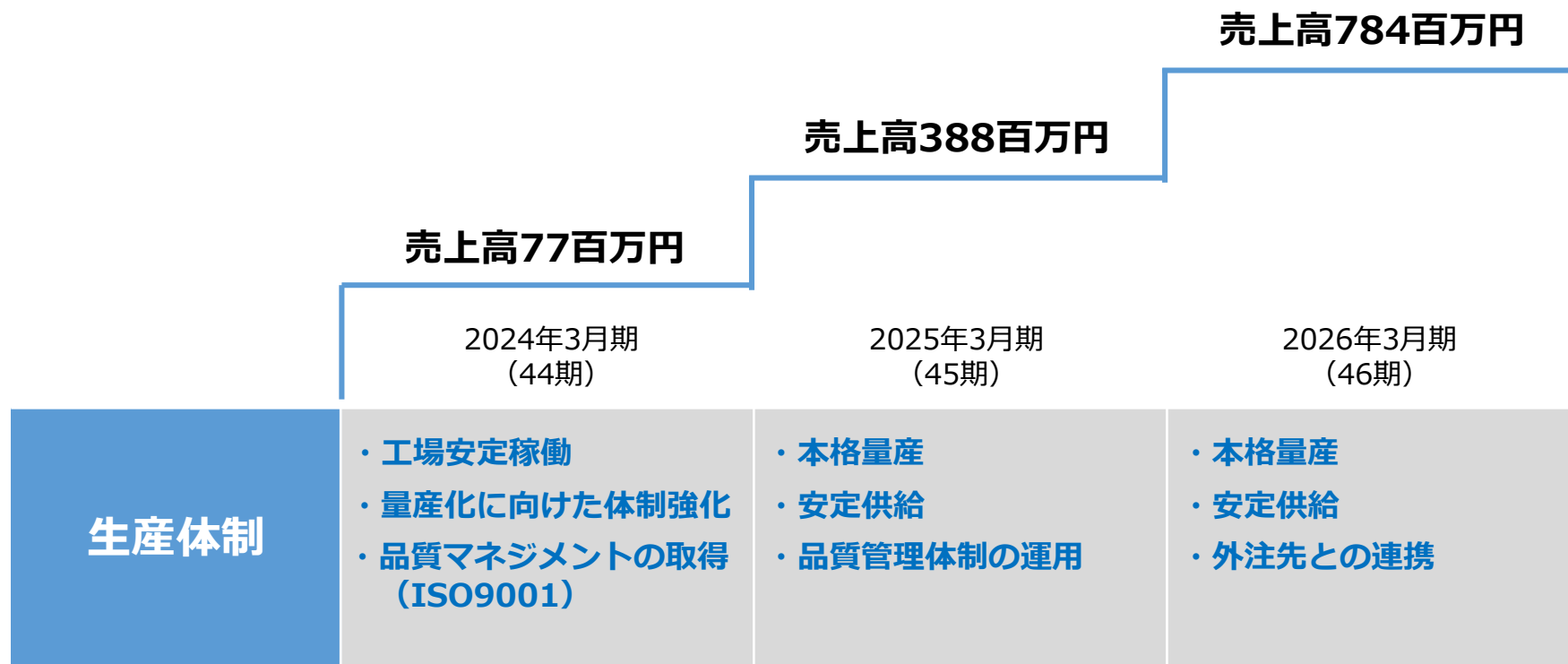
- ・ 生産
- ・ 加工
- ・ 材料／製品保管



3. 具体的な施策

(1) ナノマテリアル事業の成長スピードアップ

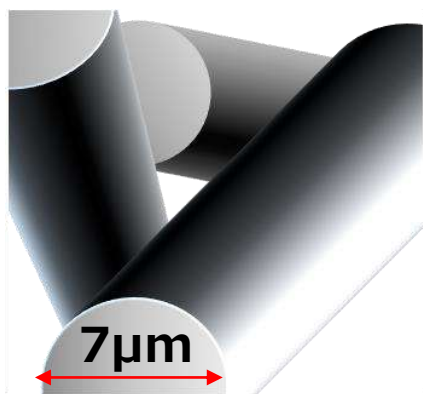
◆顧客の要求に応えられる生産体制の構築



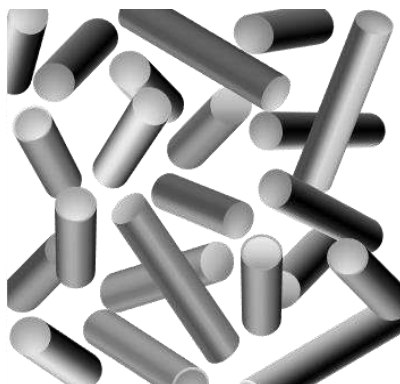
繊維	Carbon Fiber (PAN) (CF)	Carbon Nano Fiber (CNF)	Carbon Nano Tube (CNT)
直径/長さ	7 μ /30~300 μ	700nm/5~15 μ	10~100nm/10~50 μ
本数比 * 1	1	1000	10 ⁵

* 1 同一重量添加した場合

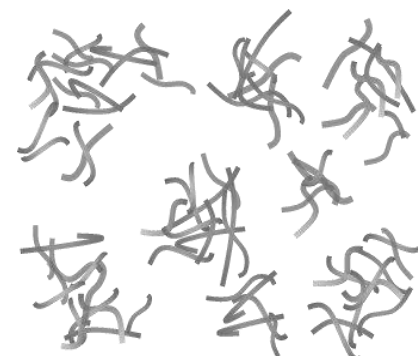
Ref.分散は良好だが表面積小



分散が良好、表面積大

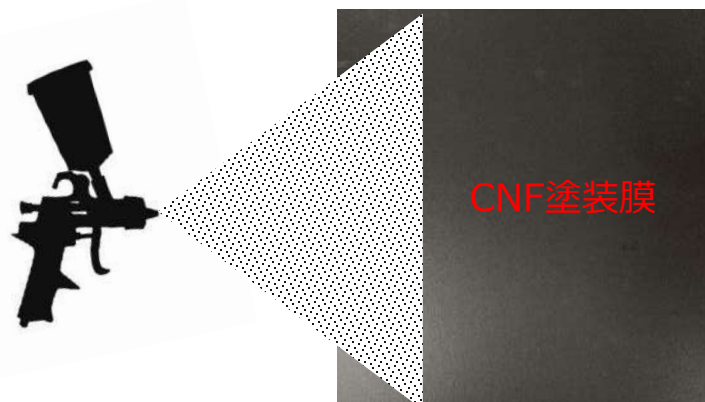


本数は格段に多いが凝集部分多い



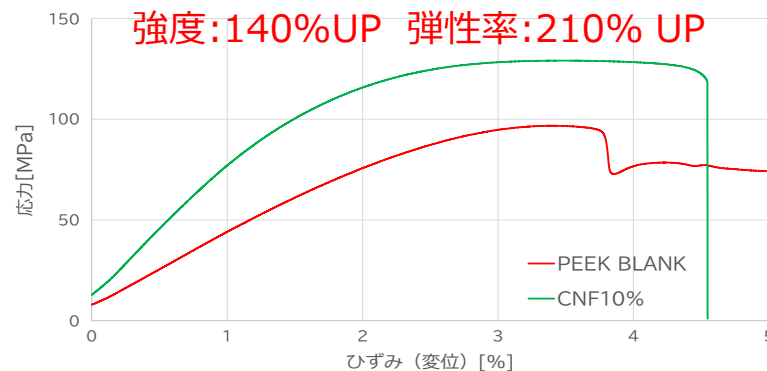
CNFの微細・分散性をよりアピールできる業種へ販促活動を展開中

①CNF塗料

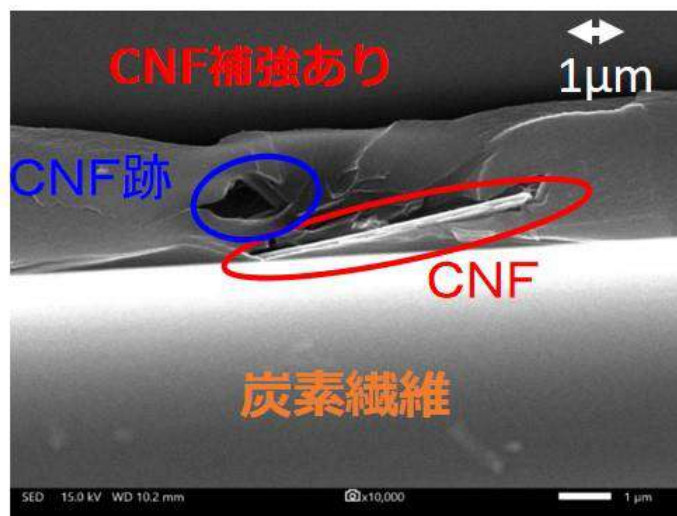
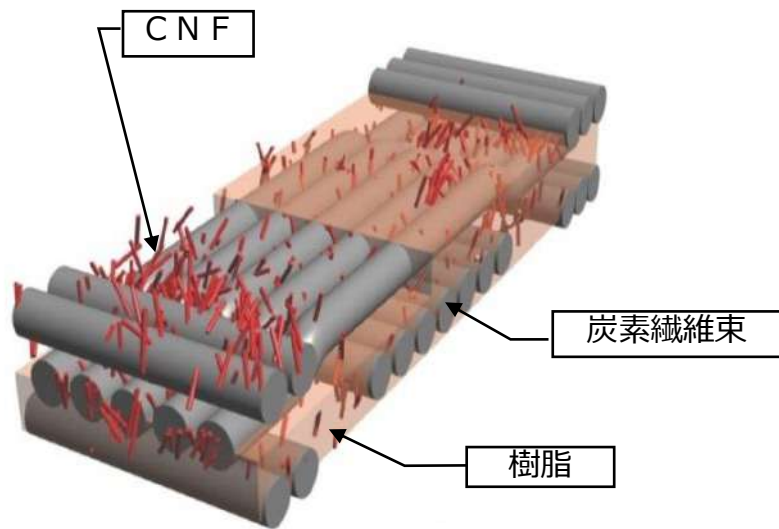


CNF入り塗料への展開を実施中。
主な用途：電波吸収塗料
導電塗料他

②3Dプリンタ用フィラメント



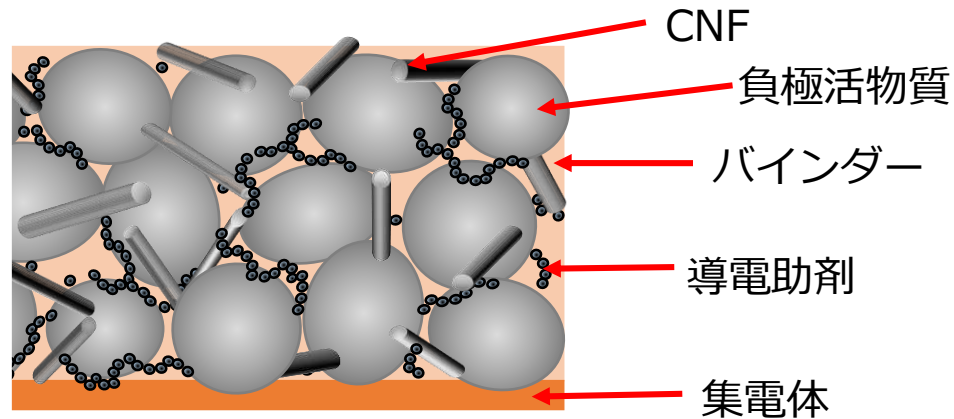
③ CNF含有CFRP



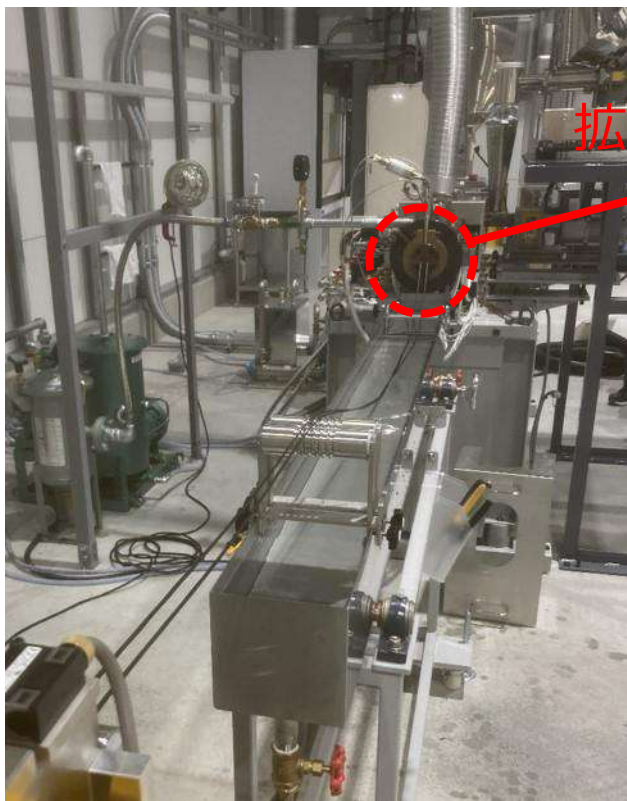
④ リチウムイオン電池用導電助剤



リチウム電池



CNFコンパウンド作業・CNF梱包作業



拡大画像



CNFコンパウンド



CNFパウダー



3. 具体的な施策

(2) 断熱材事業の更なる成長



- ・ 前年に引き続き炉材の受注拡大に取り組む
第44期以降は、半導体不足による顧客側の部品や設備の調達難は解消され、受注増の可能性大
- ・ 既存顧客に対し現状購入製品以外の受注を獲得する
- ・ 横展開活動での新規顧客獲得を狙う
- ・ 断熱材に拘らない周辺商材の販売



- ・ 太陽光発電パネル製造向け拡散炉用ヒーターモジュールの需要が拡大。太陽電池関連についての需要が拡大する見込み。
- ・ 2024年3月期上期に2億円程度の設備投資
※6カ月でキャッシュ回収見込み
- ・ 生産拠点の確保
※自社拠点確保の検討

中国政府の方針転換・情勢をウオッチしながら、リスクを捉えた上での投資・回収を行う





4. 計画目標

中期経営計画（連結）

（単位：百万円）

	2024年3月期 (44期)	2025年3月期 (45期)	2026年3月期 (46期)
売上高	5,430	5,837	6,674
営業利益	605	946	1,249
営業利益率	11.1%	16.2%	18.7%
ROA	6.6%	10.6%	12.8%
ROE	10.8%	16.2%	18.4%

為替換算レート 1USD = 133円
 1TWD = 4.35円
 1人民元 = 19.3円

4. 計画目標

事業別売上計画（連結）

（単位：百万円）

	2024年3月期 (44期)	2025年3月期 (45期)	2026年3月期 (46期)
断熱材	4,584	4,993	5,435
ナノマテリアル	77	388	784
アーカイブ	740	433	441
IDS	29	22	13
合 計	5,430	5,837	6,674

■ 注意事項 ■

当資料に掲載されている業績見通し、その他の今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆さまにとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみには全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われぬようお願いいたします。

